

令和3年度 丹波小学校 学校評価（教職員自己評価）の結果と考察について

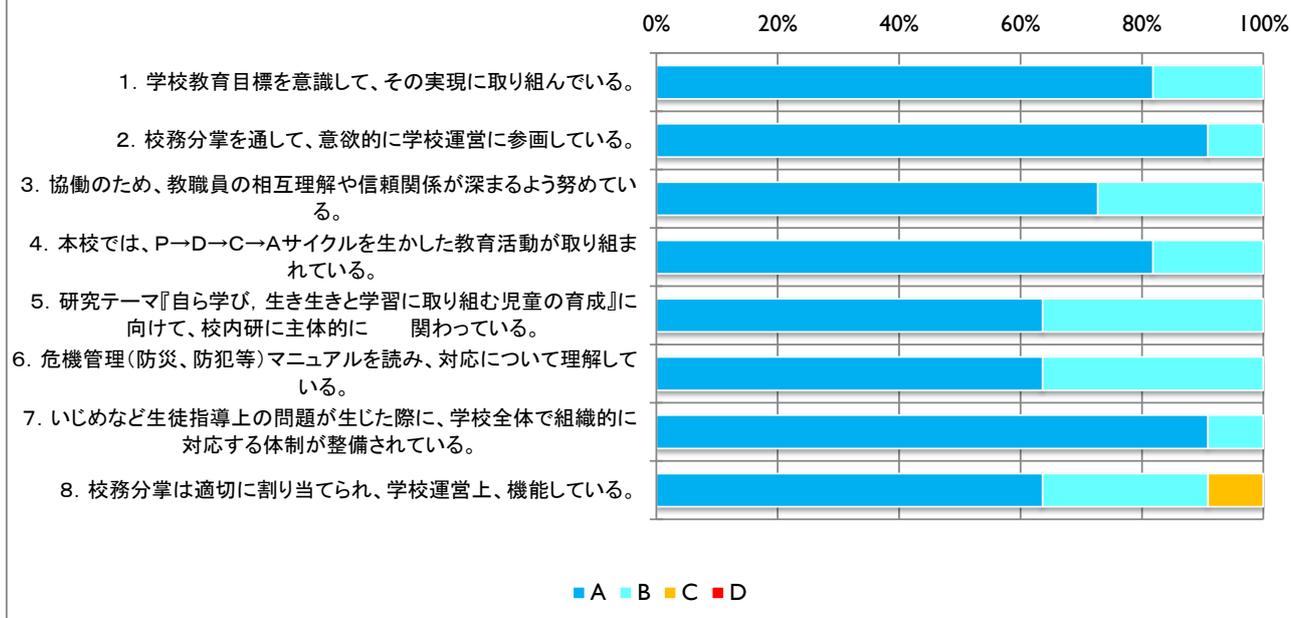
評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない
 評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

12名回答

I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
1. 学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	9	2	0	0	3.8
2. 校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。	10	1	0	0	3.9
3. 協働のため、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	8	3	0	0	3.7
4. 本校では、P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動が取り組まれている。	9	2	0	0	3.8
5. 研究テーマ『自ら学び、生き生きと学習に取り組む児童の育成』に向けて、校内研に主体的に関わっている。	7	4	0	0	3.6
6. 危機管理（防災、防犯等）マニュアルを読み、対応について理解している。	7	4	0	0	3.6
7. いじめなど生徒指導上の問題が生じた際に、学校全体で組織的に対応する体制が整備されている。	10	1	0	0	3.9
8. 校務分掌は適切に割り当てられ、学校運営上、機能している。	7	3	1	0	3.5

I 学校運営・学校経営

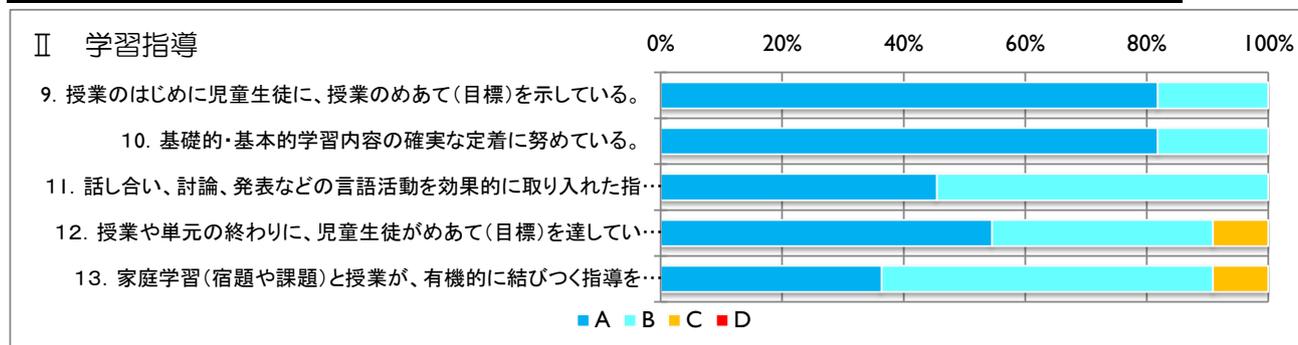


○自己評価（達成状況・改善策）

学校運営・学校経営については、すべての項目で高評価であった。本校では学校教育目標実現に向けて学校経営方針に基づいた取組をPDCAサイクルを意識し、実践していることを示していると考えられる。また特に2. 校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。7. 学校全体で組織的に対応する体制が整備されている。はとも3. 9であり、自らの分掌を通して学校運営に協働して携わる様子がうかがえる。今後も連携・協働を進めることで、より一層の同僚生を高め学校の活性化を図るように努めたい。また、危機管理については地域の特色をよく理解し、学校安全計画や消防・防災計画などを用いて、継続的に取り組んでいく必要性を感じている。

Ⅱ 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
9. 授業のはじめに児童生徒に、授業のめあて（目標）を示している。	9	2	0	0	3.8
10. 基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。	9	2	0	0	3.8
11. 話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れた指導を行っている。	5	6	0	0	3.5
12. 授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて（目標）を達しているかを確かめるまとめや「振り返り」の過程を設けている。	6	4	1	0	3.5
13. 家庭学習（宿題や課題）と授業が、有機的に結びつく指導を行っている。	4	6	1	0	3.3

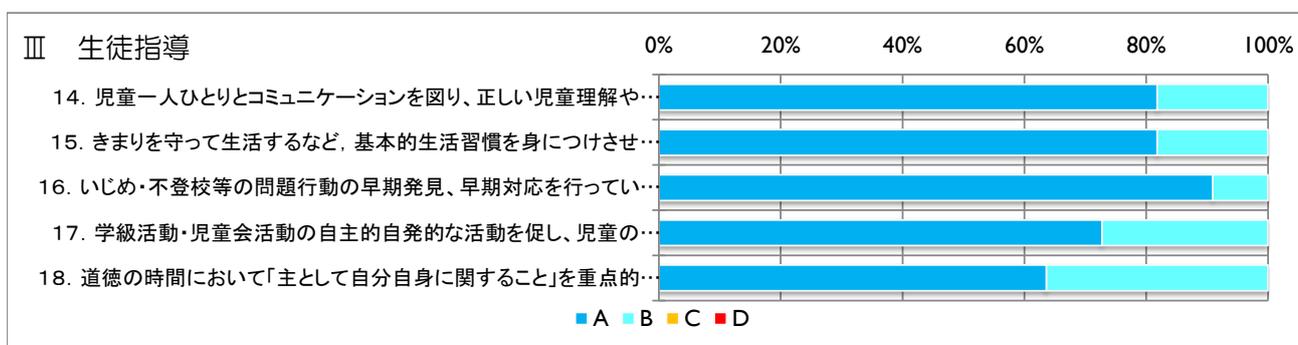


○自己評価（達成状況・改善策）

学習指導についても、概ね高い評価である。9. の授業のめあてを示すことや、10. の基礎基本の確実な定着については、多くの教職員が実施していると回答し、山梨スタンダードを意識した授業に取り組んでいることがうかがえる。13. 家庭学習（宿題や課題）と授業が、有機的に結びつく指導をしているについては3.3であった。今後は宿題や課題の内容等についてさらに研究を進め、家庭との連携を図り、学力向上につなげるよう取り組んでいきたい。

Ⅲ 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
14. 児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。	9	2	0	0	3.8
15. きまりを守って生活するなど、基本的生活習慣を身につけさせるように努力している。	9	2	0	0	3.8
16. いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応を行っている。	10	1	0	0	3.9
17. 学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	8	3	0	0	3.7
18. 道徳の時間において「主として自分自身に関すること」を重点的に扱っている。	7	4	0	0	3.6

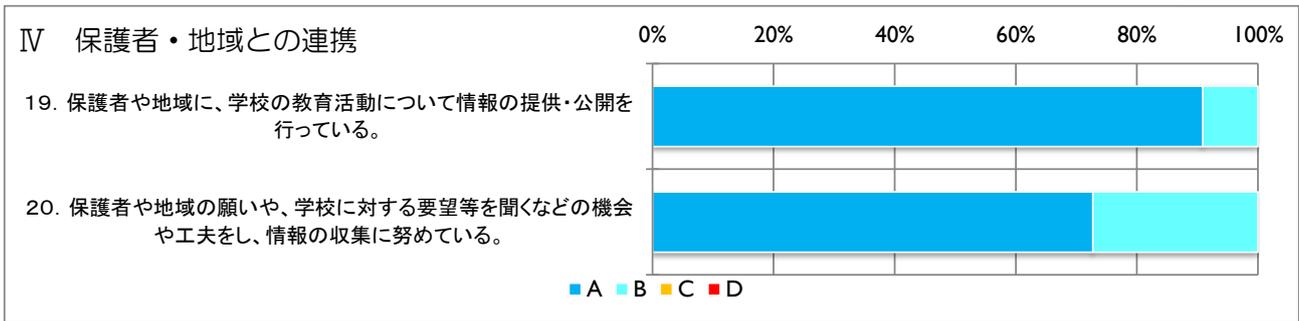


○自己評価（達成状況・改善策）

生徒指導においても、すべての項目で高い評価である。14～18の項目は、全教職員が、そう思う、またはややそう思うと回答している。これは、児童一人ひとりとコミュニケーションを大切にしながら児童理解、共感的理解に努めていること、いじめや不登校等の問題行動に対しても早期発見・早期対応を行っていることがわかる。また、学級活動や児童会活動等自主的・自発的な活動を促し、学校や学級が心の居場所となるような指導も、十分に心がけていることが示されている。18. 道徳の時間においても、道徳の時間における話し合いや、自分への振り返りを工夫して指導していることが伺える。今後も、多様な価値観を尊重し、自分自身に関することを重点的に、道徳の時間の充実に努めていきたい。

IV 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
19. 保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	10	1	0	0	3.9
20. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	8	3	0	0	3.7

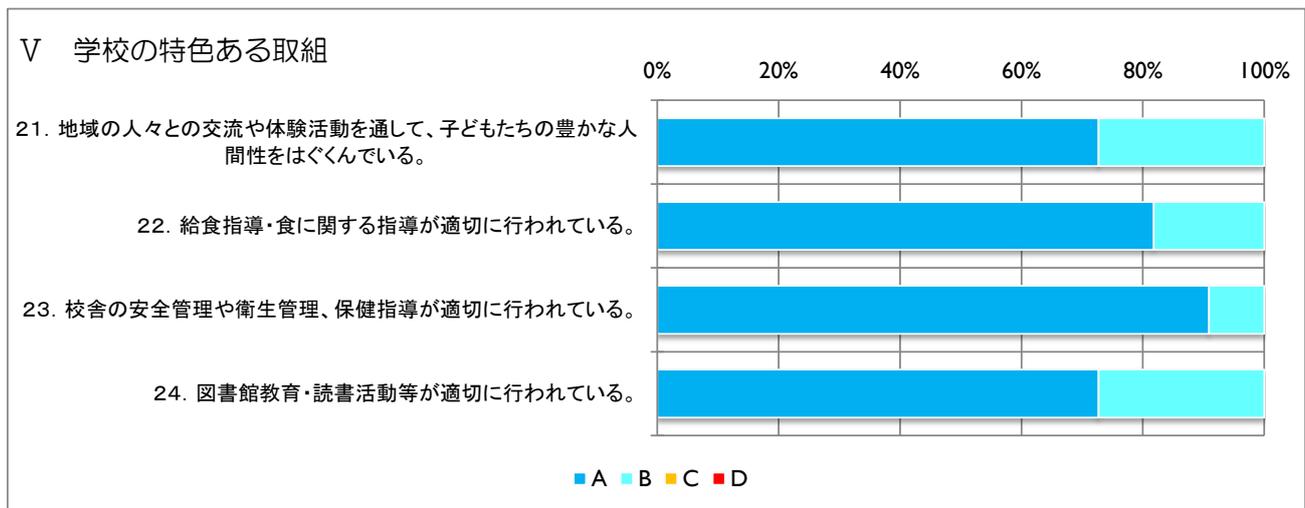


○自己評価（達成状況・改善策）

保護者・地域との連携においても、どちらの項目も高い評価である。19. の情報提供や情報公開、情報収集については教職員が意欲的に、学級通信等を作成し、情報を発信していることがわかる。20. の情報収集についてはコロナウイルス感染症等の状況から家庭との情報連絡に努めたことがうかがえる。今後も家庭との連携を図り、学習・生活等、様々な内容の情報交換を行い、教育活動に生かすよう努力したい。

V 学校の特色ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
21. 地域の人々との交流や体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性をはぐくんでいる。	8	3	0	0	3.7
22. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。	9	2	0	0	3.8
23. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。	10	1	0	0	3.9
24. 図書館教育・読書活動等が適切に行われている。	8	3	0	0	3.7



○自己評価（達成状況・改善策）

学校の特色ある取組においても、高評価である。21. では、さら獅子舞、農作物栽培 22. では、栄養教諭を中心とした特色ある給食指導 23. 校舎の照明やトイレ等の補修、養護教諭による保健指導 24. 朝読書、読み聞かせ、選書会、新刊本の紹介等、担当を中心に地域や学校の特色を生かした適切な指導がされている結果である。

VI その他(自由記述)

多くの行事があることはいいことだが、新しい行事が増えた分、行事を減らしたり統合することも必要だと思う。